

### 第3回新潟SDGsアワード

## 大賞にカルビー

### 粟島の大豆生産を応援

一般社団法人「SDGsにいがた」(代表理事・花角英世知事)は13日、SDGsの理念に沿った県内の取り組みを表彰する第3回新潟SDGsアワードの審査会を開催し、粟島の大豆「一人娘」の生産を応援するプロジェクトを展開中の菓子メーカー「カルビー」(東京)を大賞に選んだ。

アワードは県内でSDGsの浸透を図るために2020年から実施。今回は25件の申請があり、大賞のほか、経済、社会、環境の部門ごとの優秀賞、奨励賞と、食の新潟国際賞財団特別賞を選んだ。

大賞のカルビーは、農業

の担い手が少ない粟島浦村で大豆「一人娘」を栽培する農業体験ツアーを実施し、観光客や関係人口を増やす方策を含め、持続可能な農業モデルの構築に挑戦した。収穫した大豆は今年4月に商品化の予定だ。その他の受賞者と活動タイトルは次の通り。

▽経済部門・奨励賞 特定非営利活動法人アジアクラフトリンク(新潟市江南区)「植林材から生まれた食器がつなぐ『森づくり』と『名産品づくり』」

▽社会部門・優秀賞 新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学(同市中央区)

▽新潟県の循環器病診療体制の充実に向けて「クラウドファンディングによる人材育成を通じた心臓リハビリテーションの活性化」、株式会社パウ

ハウス(同)「新潟の持続可能な共生社会づくり」

▽同・奨励賞 妙高市SDGs普及啓発実行委員会「妙高市民へのSDGs普及啓発を目的とした実践活動」

▽中央小学校(三条市)「アルミ缶回収プロジェクトによるバンクラッシュの学校支援」

▽学年・全校・保護者・地域へ」

▽敬和学園大学partners(新発田市)「partners」

▽環境部門・優秀賞 日本基盤ネットワーク(新潟市西蒲区)「我ら都市鉱山発掘隊!」

▽パソコンから新しい国内資源循環を創造する」

▽同・奨励賞 高志中等教育学校SDGs推進委員会(新潟市中央区)「楽しむ」ことでS

SDGsにいがたは新潟SDGsアワードの表彰式を3月21日午後1時半から新潟市中央区の新潟日報メディアシップ2階の日報ホールで開く。受賞企業・団体が取り組みを報告する。Zoomウェビナーでオンライン配信も行う。

参加希望者はQRコードで申し込みフォームを開き、必要事項を記入。定員は日報ホールが100人、Zoomウェビナーが900人。問い合わせは、SDGsにいがた事務局(新潟日報社内)025(385)7473(平日午前10時～午後5時)。



SDGsを達成する」

▽食の新潟国際賞財団特別賞 新潟商

業高校(同)「ばくろすもったいない!をなくしたい」